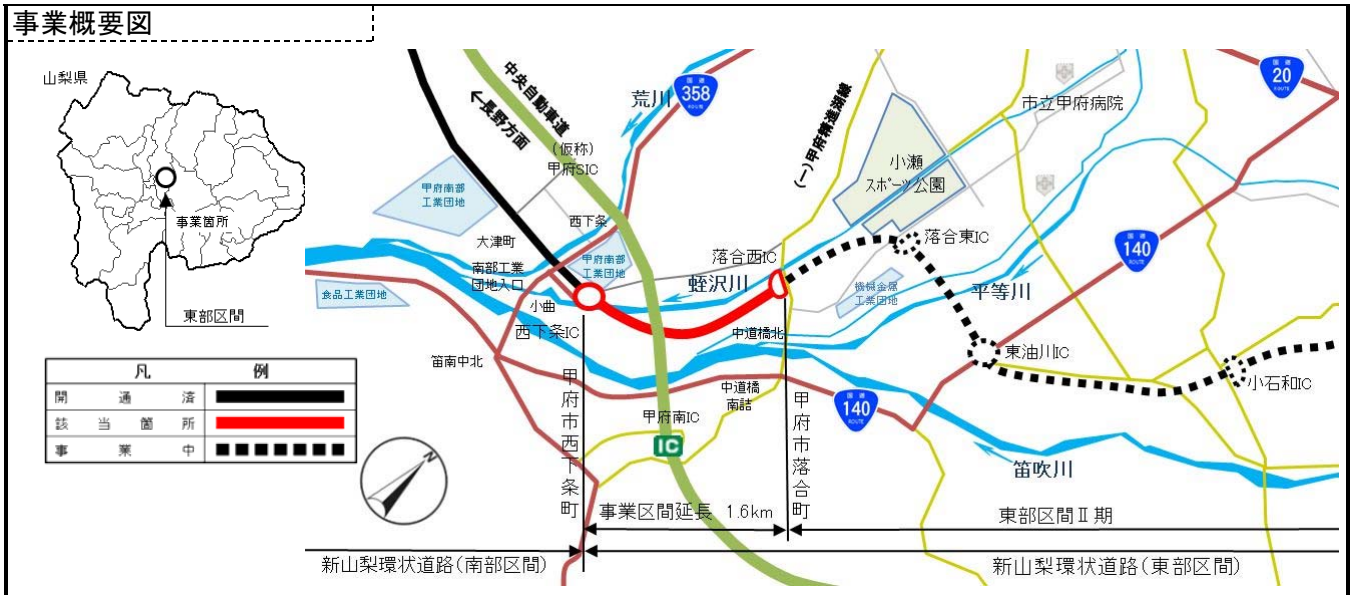


## 再評価結果（令和3年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課  
担当課長名：前佛 和秀

事業名	地域高規格道路 新山梨環状道路 一般国道 140 号 新山梨環状道路（東部区間）	事業区分	一般国道	事業主体	山梨県
起終点	白：山梨県甲府市西下条町 至：山梨県甲府市落合町			延長	1.6 km
事業概要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新山梨環状道路は、甲府都市圏における交通の円滑化、甲府市と周辺市町村間の連絡強化などを目的とした延長約40kmの地域高規格道路である。</li> <li>・新山梨環状道路（東部区間）は新山梨環状道路の一部を構成する道路であり、甲府都市圏の慢性的な交通渋滞の解消、防災拠点・広域災害拠点病院等へのアクセス向上等を目的した延長1.6kmを整備するものである。</li> </ul>					
H25年度事業化		H24年度都市計画決定		H25年度用地着手	
H25年度工事着手		H25年度用地着手		H25年度工事着手	
全体事業費	約135億円	事業進捗率	約94%	供用済延長	— km
計画交通量	17,100台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.8  (残事業) 1.9	総費用 (残事業)/(事業全体) 13/138億円 事業費：11/135億円 維持管理費：2.2/2.2億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 254/254億円 走行時間短縮便益：179/179億円 走行経費減少便益：49/49億円 交通事故減少便益：26/26億円	基準年 令和2年	
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量：B/C=1.2~2.0(交通量±10%) 事業費：B/C=1.8~1.9(事業費±10%) 事業期間：B/C=1.8~1.9(事業期間±1年)			(残事業) 交通量：B/C=12.4~20.4(交通量±10%) 事業費：B/C=17.8~21.0(事業費±10%) 事業期間：B/C=18.5~20.0(事業期間±1年)		
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高速ネットワークの形成による峡東地域と他地域との交流の活発化、山梨県地域防災計画で定める広域避難地となる防災拠点へのアクセス強化が図られる。</li> <li>・輸送時間短縮や走行性向上による地場産業の高付加価値化や産業立地の促進、峡東地域の主要観光地へのアクセス向上による観光分野の発展への寄与が期待される</li> <li>・高次救急医療施設（山梨県立中央病院、山梨大学医学部付属病院）への30分到達圏域が拡大し、甲府都市圏及び周辺地域における救急医療サービスの向上が期待される。</li> <li>・第1次緊急輸送道路に指定されている国道140号の代替路が形成され、中北地域の安全性向上が期待される。</li> </ul>					
関係する地方公共団体等の意見					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線自治体等で構成される「新山梨環状道路整備促進期成同盟会」から早期完成を要望されている。</li> <li>・「山梨県総合計画」（R1.12策定）の主要事業に位置付けられている。</li> </ul>					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度に隣接する一般国道140号新山梨環状道路（東部区間Ⅱ期）が事業化</li> <li>・平成28年度に北部区間のICアクセスである和戸ICアクセスが事業化</li> <li>・平成30年度に西関東連絡道路が全線で開通し、甲府市街～峡東地域間のアクセスが向上</li> </ul>					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率約99%、事業進捗率約94%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
土地収用制度の活用により未契約用地の取得を行い、引き続き、早期開通に向けて事業を進める。					
施設の構造や工法の変更等					
建設発生土の有効利用など、工事コスト・総コストの縮減に努めていく。					
対応方針					
事業継続					
対応方針決定の理由					
事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。					

# 事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。